

科目名 小児看護学実習	授業担当者 秋山 祥子	所属 中通高等看護学院
開講時期 :前期～中期	単位数 :2 単位	時間数 :80 時間
授業の目的 子どもの成長発達を理解し、子どもと家族がその人らしく健康な社会生活を営んでいくために必要な看護を実践する基礎的能力を養う。		
授業の概要 保育所実習では保育活動に参加することで、成長発達は個別的であることに気付き、その子に合わせた関わりの重要性を学ぶ機会となります。さらに、子どもとの遊びの中でコミュニケーションや子どもの権利を守るとはどういうことかを実践的に学びましょう。 病院実習では、主に健康障害を持つ子どもと家族に関わり看護を展開します。健康障害が子どもや家族に及ぼす影響を多角的に捉え、どのような支援が必要かを考えます。 また、子どもにとって馴染みのない環境での生活や医療行為は健康回復のために必要であっても、恐怖や不安を感じる体験です。子どもの心理的影響を最小限にするための、プレパレーションやインフォームド・アセントについて考え、実践してみましょう。 少子化・多様性の社会の中で次世代を担う子どもへの関心が高い一方、育児不安や児童虐待などの社会的な問題も起きています。全ての子どもがその子なりにしあわせに調和した成長発達を遂げるには、医療・福祉・教育の連携が不可欠です。社会情勢にも目を向けながら関係機関や職種の役割を考えてみましょう。		
受講上の注意・事前学習の内容 動画や実際の子どもの様子と授業で学んだ成長発達の知識を結びつけ、各年代の子どものイメージを掴んでおきましょう。 ガイダンスで「小児看護学実習ワークブック」を配布します。実習が始まるまでに取り組んでおいてください。		
授業計画 ○学内実習 ・実習初日:実習ガイダンス・事故予防学習会 ・実習最終日:実習終了カンファレンス・実習の振り返り面談 ○保育所実習 ・ならやま認定こども園またはウェルビューいずみこども園のいずれかで3日間行う。 ・園の活動や遊びに参加し、乳幼児の成長発達の特徴や関り方を実践的に学ぶ。 ○病院実習 ・入院中の子どもを受持ち、看護過程を展開する。 ・見学や実践を通し、小児看護技術を学ぶ。 ・カンファレンスで見学や実践したことを交流し、様々な発達段階や疾患に対する看護を学ぶ。さらに、子ども観や子どもの看護について考える。 ○小児科外来・乳幼児健康診査・病児保育室の見学実習 ・看護師が活動する小児科外来・乳児健診・病児保育室の見学実習をする。 ・見学後、情報の共有とともに子ども・家族が地域・社会の中で健やかに成長発達することを支える看護について意見交換する。		
テキスト 系統看護学講座 専門 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門 小児臨床看護各論 医学書院 ブックライブラリー 発達段階からみた 小児看護過程 +病態関連図 第4版 医学書院 ブックライブラリー 根拠と事故予防からみた小児看護技術 第3版 医学書院		
参考書・指定図書 筒井真優美 小児看護学～子どもと家族の示す行動への判断とケア～ 日総研 川上一恵 子ども発育・発達と乳幼児健診 診断と治療社 山元恵子 写真でわかる小児看護技術～小児看護に必要な臨床技術を中心に～ インターメディカ		
評価の方法 小児看護学実習ルーブリック評価表に基づき評価する。		

*この科目は実務経験のある教員による科目となります